

技術交流会開催のご案内

拝啓 時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。
平素は格別のお引き立てを賜り、誠にありがとうございます。

さて、日本コンクリート技術(株)は平成 16 年 4 月の創立以来、コンクリート技術の向上に取り組んでまいりました。お陰さまで、この 5 年余り、技術情報の蓄積を進めるとともに、新技術の開発を行ってきております。

建設部門が置かれている現況は、市場の縮小と競争の激化により、ここ数年来大変厳しい環境下にあります。そのような中で、総合評価型入札制度が定着した現在にあって、経営と技術に優れた会社づくりによる差別化が重要となっております。本技術交流会は、以上のような社会的背景を踏まえて、ゼネコン、コンサルタント会社、コンクリート製品会社、材料メーカー等に従事されている皆様を対象として、積極的な情報発信と意見交換の場を提供することを目的として開催するものです。

弊社が平成 19 年度に開発した ND-WALL 工法は、僅か 2 年で北海道から四国に至る 10 件を超える工事で採用されるなど、その普及は日本全国へと拡がりを見せております。また、採用工事に対する国土交通省地方整備局からの局長表彰の授与、県からの優良技術者表彰の授与、高い工事評価点の付与など、本工法は施工品質の向上に寄与する工法として確実に評価を高めております。耐食性に優れたステンレス鉄筋は、JIS 規格化ならびに土木学会からの設計施工指針の刊行により、今後本格的に普及が進むことが期待される情勢となってきました。さらに、マスコンクリートのひび割れ問題に関しましては、土木学会より[2007 年制定]コンクリート標準示方書が刊行されたのに続き、日本コンクリート工学協会から「マスコンクリートのひび割れ制御指針 2008」が刊行される等、新たな考え方に基づく取組も必要となってきております。

技術交流会のプログラムは、技術紹介と話題提供の 2 部構成としております。第 1 部では、上記の新技術についてご紹介いたします。また、第 2 部では、新たに開発されたコンクリート製品、コンクリートを対象とした最新の調査・診断技術、さらには土木構造物を対象としたリニューアル技術に関する最先端のホットな話題を提供いたします。

つきましては、当企画を諒とされ、当技術交流会へご参加のほど、宜しく願い申し上げます。なお、技術交流会終了後には、さらなる意見交換の場として懇親会の開催を企画しております。技術交流会・懇親会へのご参加につきましては、別紙要領にて日本コンクリート技術(株)までご連絡下さいますよう、お願い申し上げます。

敬具

日本コンクリート技術株式会社
代表取締役 篠田 佳男

記

1. 日 時：平成 21 年 8 月 26 日（水） 13:30～18:00

受付開始 13:10～

2. 場 所：江戸東京博物館（1階） 学習室 1
東京都墨田区横綱1丁目4番1号

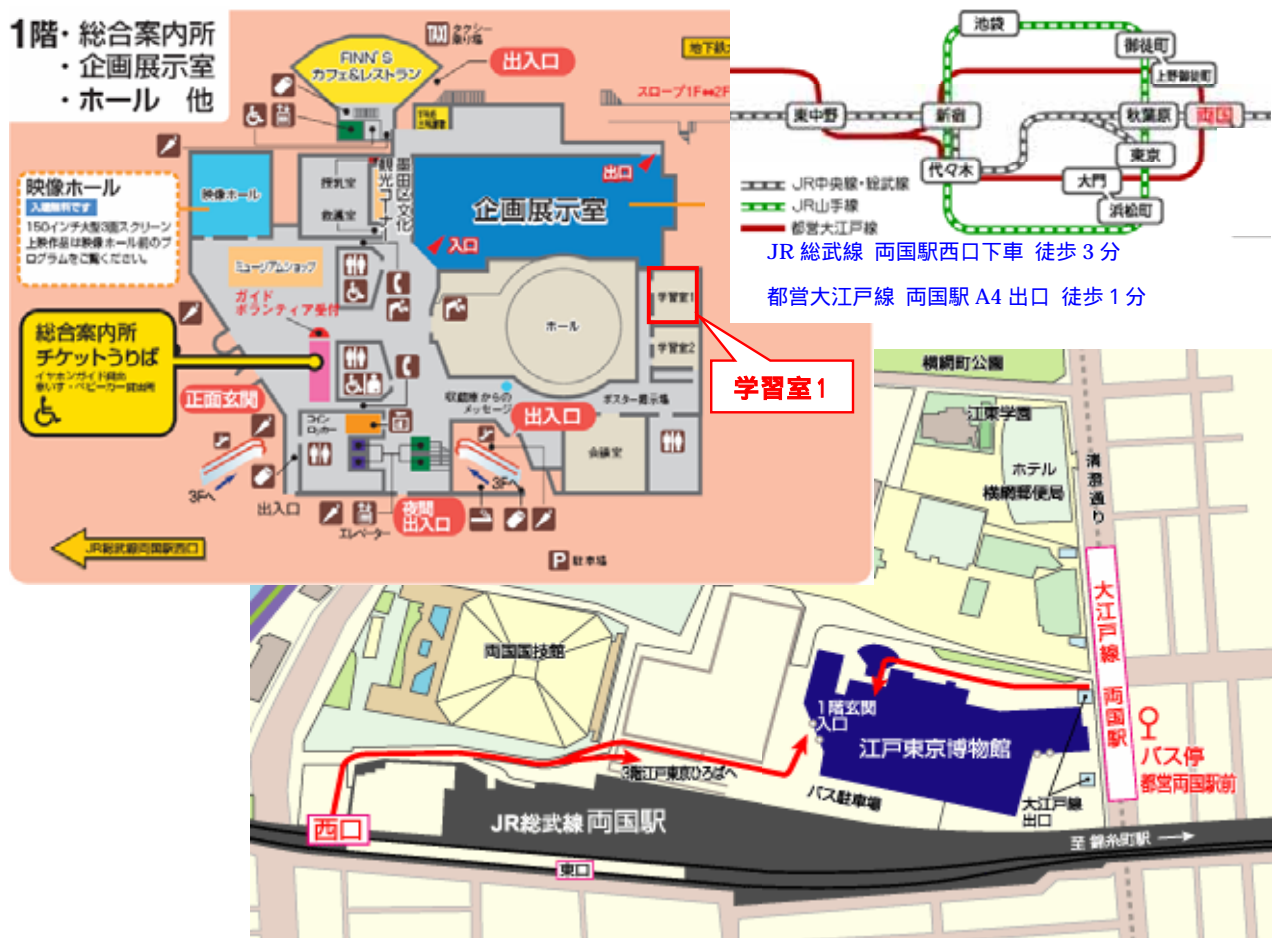
場所は下記案内図参照
Tel 03-3626-9974

3. 参加費：お一人様 5,000 円

4. 参加申し込み方法

- ・別紙の技術交流会参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX でお申込み下さい。
- ・技術交流会終了後、懇親会（お一人様 6,000 円）を予定しております。
- ・申し込み締め切り：平成 21 年 8 月 12 日（水）
- ・参加費・懇親会費は平成 21 年 8 月 21 日（金）までに下記口座にお振込下さい。

[参加費・懇親会費振込先] みずほ銀行 本所支店
普通口座 1 6 9 4 6 1 4
名 義 日本コンクリート技術(株)



日本コンクリート技術(株)・新世代P C a工業会

合同技術交流会 プログラム

実施日時：平成 21 年 8 月 26 日(水) 13:30~18:00

開催場所：江戸東京博物館 学習室 1

- 13:30~13:35 開会の挨拶 篠田佳男(日本コンクリート技術(株))
- 13:35~15:20 第一部 技術紹介
- ステンレス鉄筋のコンクリート構造物への適用拡大について
佃 有射(日本コンクリート技術(株))
- 壁状構造物のひび割れ制御対策技術「ND-WALL工法」の現状と今後の展開について
宮口博孝(徳倉建設(株))
- 2007年制定土木学会標準示方書およびJCIひび割れ制御指針2008における温度ひび割れの考え方について 河野一徳(日本コンクリート技術(株))
- 15:20~15:35 休 憩
- 15:35~17:55 第二部 話題提供
- 新都市型側溝「ぴったん溝」およびステンレス鉄筋を用いたケーブルトラフの開発と実用化について
星野陽一朗(東京セメント(株))
- プレミックスタイプのカラーモルタル「テクノカラーシリーズ」の開発と適用について
日高幸治(テクノスジャパン(株))
- 連続画像作成技術「Mofix(ムーフィックス)」のコンクリート構造物の調査・診断技術への適用
菅家洋一(株)エマキ)
- 土木構造物を対象とした最新のリニューアル施工技術について
竹田宣典(株)大林組)
- 17:55~18:00 閉会の辞
-